

## 文字起こしアプリの使用による業務効率化

# 「LINE CLOVA Note」で タイピング作業を

ゼロにする

「あの時はこう言ったよね？」がなくなる世界へ。

## CLOVA Note<sup>β</sup>

AI音声認識アプリが録音から文字起こしを行います。  
必要な会話を探して見る音声記録  
議事録やノート作成をお手伝いします。

LINE CLOVA Note 公式サイトより



クライアント対応を上司へ報告する、社内会議の議事録を作成する、など…。

会話の内容をタイピングによりテキストに変換する作業は、時間と労力を必要とするものですが、ビジネスの現場では頻出の作業です。文字起こしアプリの使用により、その作業を効率的に行うことができないか。経営支援部第4課は、ビジネスチャットで有名なLINE WORKS株式会社が提供する無料の文字起こしアプリ「LINE CLOVA Note」に注目し、その性能を試してみました。

## ① 「LINE CLOVA Note」の基本情報

「LINE CLOVA Note」は、AI音声認識機能を利用した生産性向上ツールです。

iOSアプリ、Androidアプリ、ブラウザで対応しているので、スマートフォン、タブレット、PC全てで利用可能です。利用にはLINEのアカウントが必要です。

## ② アプリの使用法とできること

### 使用方法(スマートフォンの場合)

静かな環境で話者の近くに端末を置き、録音開始ボタンを押すだけです。  
1度の録音は最長で180分まで可能です。

### 録音した音声を音声記録(文字)に変換できる

録音が終了したら、自動で音声記録(文字)に変換されます。

### 発言が参加者ごとに区別して表示される

音声記録(文字)に変換後の画面を確認するとLINEでお馴染みのアイコンにより参加者別に表示されていました。また、文字をタップすると該当箇所の音声の流れ、音声と文字を同時に確認することができるので、聞き逃してしまった情報を容易に取得できます。文字が間違っていれば手動で編集修正することも可能です。

### 音声記録(文字)はダウンロードが可能

音声記録(文字)はWordファイルなど複数のファイル形式から選択の上、ダウンロードができます。



## ③ 文字起こしを行うことの3つのメリット

文字起こしにより、記録が正確になる、情報の検索が可能になる、他者との共有が容易になる、というメリットがあります。使用が想定される場面としては、小規模会議、クライアントとのミーティング、インタビュー、講義や勉強会、自分用のメモなど多岐に渡ります。

## ④ 「LINE CLOVA Note」には有料プランがない

毎月300分の文字起こしが無料で利用できます。

## ⑤ 録音した音声や音声記録(文字)がAIの学習目的に使用される場合がある

アプリの設定で「サービスの品質向上のためのユーザーデータ取得」という項目があり、これに同意すると自分が録音した音声等が、AI技術の品質向上や研究のために利用される場合があるようです。初期設定では同意がONになっているので注意が必要です。なお、同意した場合には毎月300分の利用時間が追加で提供される(合計600分)というメリットもあります。

## ⑥ 実際に使用して出たリアルな声

今回、経営支援部第4課で、個人情報扱わない会議や日常会話を録音してその精度を検証しました。結果として出た感想は以下の通りです。

### プラスの意見

- 1時間を超える音声を録音したが、わずか1分程度で文字起こしが完了した。想像以上の速さだった。
- 文字起こしされた文章をダウンロードして生成AIで要約すると、会議の内容がすぐにまとめられて実用的と感じた。
- 参加者別にアイコンが充てられて文字起こしされるので、視覚的に見やすい。
- 文字に起こすと、「あの」「えっと」などの言いよどみが消えていたのは高度な機能だと思う。

### マイナスの意見

- 参加者の区別ができず、4人の会話が7人として記録されてしまったことがあった。
- 専門用語や固有名詞は反映されない場合が多く、会計・税務業務には不向きかもしれない。  
(例: 税理士試験→整理試験、扶養控除→不要工事)

## 「LINE CLOVA Note」はビジネスで利用可能か?

音声認識技術はここ数年でより高精度化、多機能化していると聞いていましたが、「LINE CLOVA Note」を使用してそれを肌で感じることができました。手軽に利用できる無料アプリとしては高性能ではありますが、ビジネス利用の場合には、より高機能な企業用の商品の導入を検討する必要があります。企業用の文字起こしツールは、専門用語の正確な変換や、長時間の使用にも対応できる設計がされており、業務効率をさらに向上させることができるはずです。音声認識技術は私たちの働き方に大きな変革をもたらす可能性を秘めています。日々のタイピング作業を限りなく削減し、創造的な業務に時間を割けるよう努めたいと感じました。

- 本記事は特定のアプリをPRするものではありません。
- 会話を録音する際は相手の同意を得て、マナーを守って行います。